

2025年9月12日

校長 岡 利道

部活動 点描 ～和太鼓部～

文化系クラブが続きます。前回は「洋」でしたので、今回は「和」で…、文字どおり和太鼓部さんです。創部されて以来、これほど地域に愛され、育てられたクラブはないように思います。その証拠に、本校のお膝元である上原地区の夏祭りをはじめとして、ゲストとしてのアトラクション演奏が終わると、代表の方から必ず「来年もお願いしますね！」とお声をかけられるのです。

顧問は、本多教諭と石川教諭です。部員は4名（いずれも1年生）です。そして、写真をご覧いただくとわかるように、OGの皆さん（社会人・大学生）に多数応援していただいています。命をつないでいただいています。本当にありがたいと思っています。顧問の先生方のご尽力の賜物であるとも言えます。

部員たちの素晴らしいところは、何と言っても、パイオニア精神があふれているところです。何としてでも和太鼓部の歴史・伝統を維持したい、その一方で自分たちの個性を表現したいという気迫があります。そして、ワザを磨こうと、どんどん朝練習をしているところです。誰一人見ていないところで努力をすることは、そうそうできるものではありません。あっぱれ！

では、最近の出演についてご紹介しましょう。



7月26日(土)、水運の神を祭る明神社（可部2丁目）の夏の大祭に招かれました。これは、260年以上続く歴史あるお祭りです。毎年、明神社前の明神公園

にステージが作られ、地元の各種団体が芸能を披露します。この日もうだるような暑さの中、写真のように「文教太鼓 葵（あおい）」として出演しました。1年の部員たちは、緊張しながらも先輩たちに導かれて、最後まで演奏することができました。

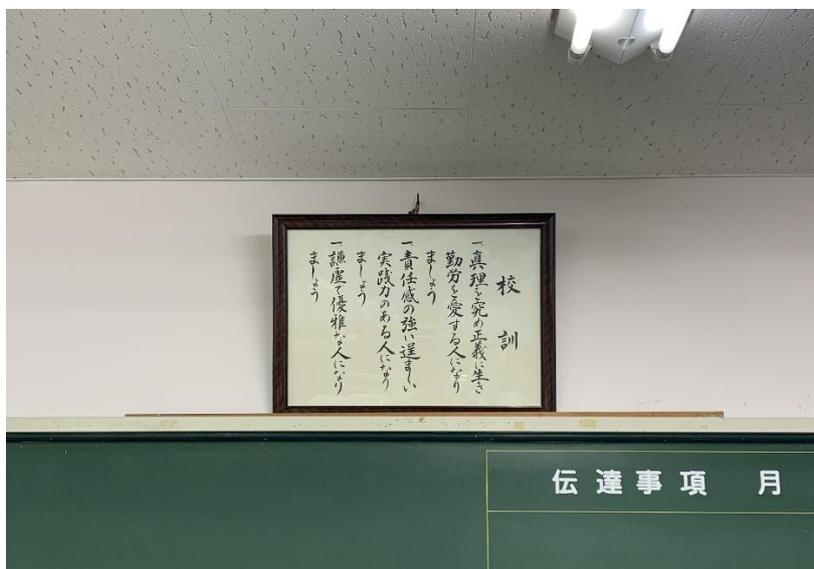
その一か月後、8月30日(土)は広島文教大学附属幼稚園恒例の夏祭り・花火大会で、それに先立つアトラクションとして出演しました。オープニングを飾って本校の1年生部員が演奏しました。それが、次の写真です。いい姿勢ですよ。その下の写真は、フィナーレで、一番力が入ったところです。



見るからに勇壮ですよ。これぞ心技一体！ 満員の観客。拍手が鳴り止まなかったです。私も朝練習をしているところによく顔を出すものですから、部員に現在の心境を聞いてみました。「1年生だけで大変だけどやりがいがあるし、楽しい。」「自分たちだけで3曲【「檸檬（れもん）」「文教三宅太鼓（ぶんきょうみやけだいこ）」「絆（きずな）」】もできるようになったんですよ。」「OGの先輩たちは厳しいけど、とっても優しい！」との声。私の想像以上に努力していますし、しっかりしているなあとつくづく感じました。1年生4名の活躍を心から祈っています!!

職員朝礼の様子をお伝えします

どこの職場でも朝礼はあるでしょう。どんな具合に進むか興味がありませんか？ 半ば強引に後半の話題に入りました。



この写真は本校の職員室前面に掲げられている「校訓」の額です。8時15分になりますと、朝の挨拶後、皆で唱和します。職員朝礼、略して職朝（しょくちょう）。それは、次のような項目で進みます。

校長からの話
各分掌からの連絡（メール配信は別途）
教頭からの連絡

互礼して終わると、各学年主任（今岡1年部主任・坂田2年部主任・石川3年部主任）を中心に打ち合わせをします。その後、担任・副担任は各クラスに向かいます。そして、8時30分からはショートホームルーム・朝読書となっていきます。

校長からの話をする時に心がけていることを申します。それは、

【聞き手の心に届くよう、内容や表現を工夫し、自分の言葉で語りかける】
ということです。先生方が元気よくその日のスタートができるには…と何時も考えています。



9月1日(月)の例 → その日が「防災の日」であることにちなんで、2014年8月20日の集中豪雨で本学園の大学・高校・幼稚園にも甚大な被害があったことに触れました。生徒も教員もともに防災について考える一日にしようと呼びかけました。

とりわけ工夫していることがあります。1週間の中日（なかび）である水曜日は、先生方もなるべく肩がこらないようにと考え、「今日は何の日？」クイズ・コーナーとしています。週の3日目ともなれば疲れもたまってくるのではないかな、と認めてのことです。「週に一度、朝の運試しです！」と声を上げます。肩の力を抜いて、気持ちも新たに、教室へ向かってもらえたら、との一心です。



6月25日(水)の例 → その日が「天覧試合の日」であることを受けました。1959年のこの日、昭和天皇・皇后両陛下が後樂園球場で巨人 vs 阪神をご覧になったのが、史上初の天覧試合でした。天才打者・長嶋茂雄のサヨナラホームランをめぐってクイズを出しました。相手ピッチャー・村山実が語ったことは？

教育とは関係ないことが多いのですが、かえってそれがいいのかもしれないと思っています。心に余裕があるに越したことはありません。

保護者の皆さま、いかがだったでしょうか？

この「学校だより」（「校長室だより」）についてのご感想、ご質問をぜひお寄せください。メールアドレスは、【t.oka@h-bunkyo.ac.jp】です。よろしくお願いたします！



付録：先ほどのクイズの答え

村山 実（むらやま みのる）は、次のように言ったそうです。

「あれは、絶対にファールやった！」

長嶋の打球は、レフト側のファウルポール（FOULPOLE）ぎりぎりのところを過ぎました。

※岡が一番好きなプロ野球選手は、いまだに村山さんです。

ほれほれする投げっぷりでした。